

農業振興公社だより

第十九回総会（定時）開かれる

角田市農業振興公社の第十九回総会（定時）が五月二十七日（水）午後六時三十分から角田駅オークプラザイベントホールで開催され、三十五人の会員が出席（委任状出席含む百十六人）しました。



△大友理事長のあいさつ

開会に当たり、大友理事長が、昨年、農地中間管理事業を受託し事業を始めたことなどを報告しながらあいさつをしました。大河原地方振興事務所の本多部長はじめ来賓からご祝辞をいただいた後、東根地区の後藤義行さんを議長に選出し、「平成二十六年度事業の報告と正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の承認について」「役員を選任について」の二つの議案について審議し、全議

案とも満場一致で承認されました。「役員を選任について」は現役員の任期満了に伴い提案されたもので、監事一名が退任し新たに選任されたほか、理事十四名と監事一名は再任されました。

（交代された役員）
退任された監事
渡邊芳郎氏（西根）

新たに選任された監事
井上克義氏（角田）

総会に出席されご祝辞をいただいたご来賓の方々です。
大河原地方振興事務所農業振興部

部長 本多信寛 殿
宮城県議会議員 長谷川洋一 殿
角田市議会議員 佐藤正友 殿

※提案された議案と主な質問・意見の概要は下記の通りです。
議案 第一号議案「平成二十六年

度事業の報告と正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認について」



△あいさつをする後藤議長

◆ 発行 ◆

公益社団法人 角田市農業振興公社
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊四一
電話 (0234) 63-1331
FAX (0234) 61-1511
URL <http://www.kakunou.or.jp/> E-mail kakuda@kakunou.or.jp

第二号議案「役員を選任について」
「報告事項」平成二十七年計画及び収支予算

【質問・意見（要点）】
・正味財産増減計算書の中の受け取り会費が前年に比べて大きく減少したこと、及び雑収入で同じく大きく増加したこの内容について

大友理事長、 浅野副理事長が留任

定時総会終了後、新たに選任された理事、監事が出席して理事会が開かれ、理事長、副理事長の選定が行われました。その結果、理事長大友喜助氏（角田市長）、副理事長浅野清氏（JAMみやぎ仙南組合長）が留任することが決まりました。

一層の満足提供に向けて

特別会員農産物生産者の会議開く

角田の農産物のサポーターである、農業振興公社の特別会員に送付する農産物の生産者打ち合わせ会が六月十日、角田市農業振興公社の会議室で開かれました。会議は、特別会員の皆様の期待に応えられる農産物を生産し、お届けしようと思われたもの。米やイチゴ、梨の生



△活発な意見を出し合う生産者

産者ら八人が出席しました。会議では、はじめに事務局から昨年度、利用者から寄せられたアンケート結果、特別会員事業の運営基準などについて説明がありました。協議の中では、会員に満足していただけ最高のもので生産することや、近年、申込者より野菜や漬物がほしいという要望も寄せられていること、から、発送の難しさなどの課題を解消する方法を検討して、可能であれば今後朝ごはんセットに加えるか、またはアンケートを返信してくれた方にプレゼントをする・・・など、利用者や生産者がコミュニケーションを取れるような仕組みを作り上げることを念頭に熱心に話し合いが行われました。

最後に、特別会員の事業は、一定の評価を受け定着してきていること等を踏まえ、なお一層特別会員の満足が得られるよう生産者、公社が一体となり、対応を行っていくことを確認しました。

純米大吟醸酒 『牟宇姫』を堪能！

かくだの地酒を楽しむ会（岸浪俊一会長）は、このほど会が企画して醸造、販売した純米大吟醸酒『牟宇姫』の評価を確認すること等を目的に、四月二十四日、ふれあいセンタ―で、「会員の集いと『牟宇姫』を楽しむ会」を開きました。会には会員や新澤醸造店の阿部さん、会の役員ら二十一名が出席しました。今回は、GSエシテックの三矢社長さん、角文株式会社近藤所長さんら遠く愛知県からの参加もありました。



△挨拶する岸浪会長

はじめ岸浪会長が、角田で地酒を造るようになった経緯などを説明しながら挨拶を行いました。小野角田市副市長、佐藤角田市議会議長からお祝いの言葉をいただき、そのあと、会の佐藤副会長が乾杯し、早速準備した『牟宇姫』をいただきました。

参加者は、飲みごたえのある美味しいお酒に大いに酔いしれて話も弾み、楽しいひと時を過ごしました。



△参加した皆さん

純米大吟醸酒『牟宇姫』はかくだの地酒を楽しむ会が大崎市の株式会社新澤醸造店に依頼して限定醸造したもの。市内の故郷かくだ銘酒会の酒店から会員に販売しました。

あぶくま農学校 運営委員会が開催されました

あぶくま農学校の運営委員会が六月四日（木）、午後六時三十分から公社の会議室で開かれ、小松光一先生、面川義明代表ほか委員七名が出席し、今年度の土の塾（農業体験研修）、出前塾（実践塾）、風の塾（農業後継者研修）の取り組みについて協議しました。

【土の塾】今年度も八月二十日（木）から二十三日（日）までの四日間開催することが決定し、さっそく募集を開始することになりました。

【出前塾】東京目黒区の商工祭り、消費生活展のイベントに参画することにし、目黒区の方々と一層交流を深め、あぶくま農学校のことを知りてもらうために、工夫をしながら取り組みを進めることに決まりました。【風の塾】この年か参加者が少ない状況で休止していましたが、稲作勉強会、トマト栽培勉強会等を風との塾と位置づけること等が決まりました。



△真剣に協議する運営委員

若手農業者を対象に 稲作勉強会を開催

角田市農業経営者会議（伊藤総会長）では、あぶくま農学校「風の塾」と共催で、若手農業者を対象にたりの稲作勉強会を開催しました。講師には、大河原農業改良普及センターより藤井技術主査をお招きして、参加者の各圃場を巡回して質問に答える形式で実施しました。

この時期、田植えの準備等で多忙
四月二十四日
育苗巡回編

にもかかわらず若手農業者5名が出席し、苗の高さの不揃いの原因、温度管理の重要性、プール育苗における水深の重要性など、昨年教わったことを再確認しながらの育苗現地検討会になりました。



△育苗巡回の様子

圃場巡回編

前回の育苗巡回につき、参加者全員で参加者宅の圃場を巡回し稲の生育状況を皆で確認、勉強をしました。麦刈り・大豆の播種作業までの参加できない会員もあり、3名だけの参加となりました。生育の悪いもの、伸びすぎた苗を活着の悪いもの、よその稲との比較等、その原因等を先生に教わりながら、あるいは会員同士が情報等を共有しながらの有意義な現地検討会になりました。



△熱心に質問する参加者

食農教育

あぶくま農学校農業体験学習

『春』

あぶくま農学校では、「食農教育」の一環として、市内の小学校二校(枝野・西根・北郷)でこの度農業体験学習(田植え)を行いました。東京都目黒区民と角田市民の交流が縁で、枝野小では平成二十二年から上目黒小と、西根小では平成十六年から月光原小と、北郷小では平成十二年から緑ヶ丘小と合同で交流事業を実施してきましたが、福島原発事故の影響で、今年も目黒区からの参加は見送られました。しかし、交流の再開継続を望む両校の熱い思いにより、目黒区の小学校の児童や保護者ら有志の方、数名が参加している学校も出て来ました。

上目黒小・枝野小



枝野小学校では五月八日、全校児童九十一名が参加して、小学校北側の学習田においてあぶくま農学校の入校式が行われ、副校長である菊地

彦角田市教育長にご挨拶を頂き、百姓先生による事前指導のあと、一斉に田植えを行いました。朝から晴れて風もそんなに強くなく絶好の田植えとなりました。最初は恐る恐る植えていましたが、すぐに慣れてスピードアップし、手植え分の約一〇aの面積を三十分ほどで終了し、そのあと機械植えを体験し、枝野小児童の作成した看板の前で記念撮影し、田植え体験を無事終了しました。

月光原小・西根小



西根小学校では五月十六日、全校児童九七名が参加して、小学校の体育館で入校式を行い、あぶくま農学校菊地俊彦副校長のご挨拶のあと、交流のある月光原小学校の上田校長先生からご挨拶を頂きました。その

後、月光原小学校の有志児童・父兄の歓迎式が行われ、式の後、各班に分かれて両校児童が自己紹介を行い、早く打ち解けようとしていました。西根地区子ども会育成会のみなさんの事前指導の後、学習田へ移動し田植えを開始しました。今年朝から雨が降っていて、カッパを着て田植えをすると思いきや、田植えをする少し前に雨が上がりました。育成会の方々が引いてくれた線に植える子、尻餅をついて泥だらけになる子、月光原小学校の児童と仲良く植えている子など、微笑ましいうちに田植えは終了し、両校の看板の周りに集まって記念撮影し、田植えを無事終了することが出来ました。

緑ヶ丘小・北郷小



北郷小学校では五月十三日、五年

生児童三十名が参加して、小学校の体育館で入校式を行い、あぶくま農学校副校長菊地俊彦角田市教育長のご挨拶を頂き、その後、農協青年部北郷支部の方たちから事前指導を頂き、田植えを行いました。当日は風が強く、かぶっていた帽子が飛んでいる子や風に煽られて田んぼに転んでいる子がいたり去年とはまた違う田植え体験となりました。

上目黒小・枝野小→
(6月25日現在
草丈 59.2 c m)



←月光原小・西根小
(6月25日現在
草丈 51.7 c m)



緑ヶ丘小・北郷小→
(6月18日現在
草丈 42.7 c m)



※現在の田んぼの様子は、当公社のブログ『これがぼくらの田んぼだぞ』<http://kakunou4.exblog.jp/>からご覧いただけます。

募集のお知らせ

特別会員募集

角田市農業振興公社では、毎年旬の時期に角田の味覚を味わって頂く目的で農産物を特別会員（サポーター）へお送りしています。

今年度も、「角田の農産物を味わってみたい」という特別会員（サポーター）を募集しています。

年会費は、一万円と五千円と二種類に分かれています。

《Aコース（会費一万円）》
基本セット（朝ごはんセット）プラス左の①③より二点を選択

① 梨（幸水または豊水） 九月頃予定
② 麦とろセット 十一月頃予定
③ いちご 来年一月予定

《Bコース（会費一万円）》
新米中心のセット
二十キログラム
味噌 七五〇グラム 十月予定

《Cコース（会費五千円）》
角田産秘伝豆と牛肉のセット
十月上旬予定

《Dコース（会費五千円）》
新米ひとめぼれ5キログラム
とつや姫5キログラムのセット
十月上旬予定

*申込期限 八月七日まで
*申込みを希望される方は、当公社までご連絡お願いいたします。



農地を借りたい方へ農地中間管理事業・借受希望者の募集

農地を借りて農業経営の規模拡大等を目指す認定農業者等の担い手の方を募集します。所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、当公社まで提出ください。

応募〆切日：七月三十一日まで

※申込用紙は公社の窓口に準備しております。なお、申込みには要件がありますので詳しくは当公社までお問い合わせください。（昨年度申込みをされた方は引き続き今年度も登録されていますので再度申込みは不要です）

※農地中間管理事業とは、昨年度から始まった宮城県農地中間管理機構が間に入って農地の貸し借りをを行う事業で、当社が業務委託を受けて相談や申請手続き等のお手伝いをしています。この事業では受け手（担い手）は今後どれくらい当面積を借りたいのかを事前に申し、機構が公表する借受希望者リストに掲載される必要があります。（掲載されない場合と農地を借りることができません）現在、新規の貸し借りの多くは農地の出し手（地権者）の要望により従前の農地利用集積円滑化事業よりも中間管理事業によるものが多くなっています。今後経営面積の拡大を図っていくためにはこの中間管理事業の活用が不可欠となりますので、まだ申込をされていない担い手の方は是非応募ください。

農業簿記学習会の案内

農業者の所得申告は、以前は帳簿記帳の必要性がありませんでしたが、

今日、「収入金課税」「収支計算」と変遷し、パソコンの普及と相まって記帳義務が課せられるようになりまし。また、税務上のみならず、個々の農業経営者として経営内容を把握し自立経営に役立てるという意味で、簿記記帳は非常に重要なツールとなっています。でも、簿記記帳は・・・難しいのでは？・・・大変そう、ちよつと待って・・・簿記は「りくつ」が分かるさほど難しいものではないです。

簿記の「基礎」についての勉強会を下記により開催しますので希望の方は公社までお申込みください。

日時 七月二十二日（水）
午後一時三〇分～一時間程度
（二回目以降は参加者の希望や進捗を勘案して決定）

場所 公社会議室
募集人員 五～七人程度
講師 公社職員
参加費 公社会員は無料
（公社会員以外の方は、テキスト代（千円程度）のみ必要）

*申込期限 七月三十一日まで

パソコンで農業簿記を記帳しませんか？

昨年より簿記記帳・帳簿等の保存が義務化されたことに伴い、角田市農業青色申告会と共催で、株式会社ソリマチより講師をお招きして、簿記ソフトの紹介と、操作方法について研修会を開催します。

日時 八月七日（金）
午後一時半～

場所 公社会議室
募集人数 十名程度
参加費 無料

パソコンの台数により調整あります。
*申込期限 八月五日まで
※申込・問い合わせは 当公社まで

あぶくま農学校『土の塾』の塾生を募集！

これから農業を始めたい方や農業に関心のある方たちを対象にした塾、あぶくま農学校『土の塾』を今年も次の日程で開催いたします。

日程 八月二〇日（木）～
二十三日（日）三泊四日

内容 塾長講義、角田市内の施設見学、百姓先生宅にホームステイしながら農業実習、レポート作成など

*詳しくは公社まで！

～昨年の様子～

